

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

### 1 事務事業に関する基本情報

				平成	26	年度
事業番号	203	事業名		子育て支援事業費		
担当課	福祉環境課	担当係		子育て支援係		
総合計画に最も関連ある施策	施策	2	やすらぎと生きがいのあるまちづくり	連絡先	0858-76-0205	
	施策体系	4	子育て支援体制の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	
	主な事業	子育て支援センター事業				
予算区分	款	3	民生費	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町 <input type="checkbox"/> その他	
	項	2	児童福祉費			
	目	4	保育所費	計画期間	開始	—
	事業	203	子育て支援事業費		終了	—

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 子育てする保護者とその子ども。					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 一人ぼっちの子育て(孤立した)にならないよう、育児不安の解消や子育てをする人たちの交流の場と情報提供。また、児童虐待のリスクが高い、育児能力不足などの要支援家庭へのアプローチを行い、予防的な家庭支援やきめ細かい支援体制の確立。					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 子育て期における様々な育児相談、育児支援等。子育て世代間のコミュニケーションの場の提供と親子で参加できる親子ふれあい事業。					
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 検診時に同席し、子育て支援センター参加への呼びかけを行う。また検診に同席することにより、子育ての不安や悩み相談にも対応できる。HPやCATV、防災無線などを利用し、子育て支援センターの開催日や行事の情報提供を行い、利用者の増員を図る。また、同じ子育て世代の保護者が集まり、仲間づくりや情報交換ができる場所の提供を行う。					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 子育て支援、養育支援の必要な家庭の早期発見をし、子育て不安の解消や他の関係機関への支援提供、専門機関の紹介や連携→安心した子育て環境の提供と支援体制を確立する。子育て支援拠点の設置(3か所→1ヶ所へ集約)、同じ内容の支援提供を行う。					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町子育て支援センター事業実施要綱

### 3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし		
	A	人	支援センター登録人数		
	B				
	C				
	D				
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし		
	A	人	参加人数(延べ人数)		
	B	件	相談件数		
	C	ヶ所	拠点設置(3ヶ所→1ヶ所)		
	D				

### 4 コスト

区分		単位	23年度	24年度	25年度		26年度		27年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	人	157	150	130	177	150	102	150
	B								
	C								
	D								
成果指標	A	人	7,604	5,799	4,500	4,757	5,000	3,382	5,000
	B	件	106	90	91	94	105	139	105
	C	ヶ所	3	3	3	2	3	3	1
	D								
トータルコスト		千円	33,317	33,047	24,634	24,396	24,535	23,512	21,570
担当職員数		人	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
職員人件費		千円	24,600	24,600	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
事業費		千円	8,717	8,447	8,634	8,396	8,535	7,512	5,570
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	5,811	4,386		6,290	6,290	3,614	1,690
	県支出金(交付金・補助金)	千円			6,290			3,614	1,856
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
一般財源(単町費)		千円	2,906	4,061	2,344	2,106	2,245	284	2,024

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 26 年度

<b>実施活動内容・成果(到達点)</b>	<p>実施活動内容(具体的に)</p> <p>子育て期における育児相談、育児支援等。子育て世代間のコミュニケーションの場の提供と親子で参加できる親子ふれあい事業を開催。                  ・育児相談…各支援センターにおいて月～土曜日実施                  ・親子ふれあい事業…○那家子育て支援センター 月～木、○船岡子育て支援センター、八東子育て支援センター 1回/週の開催                  ・平成27年度には3ヶ所の子育て支援センターを1箇所にて拠点化する</p> <p>成果(具体的に)</p> <p>八頭町においては3歳未満児の保育所入所率が高いこともあり、登録者数などの増は難しいが、相談件数が増えており、育児不安の軽減や解消が図られた。検診時に同席し、子育て相談の実施や支援センター事業のチラシ配布を行い、子育てが孤立化しないよう支援センター利用のPR活動も行った。</p>
-----------------------	---

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	孤立化した子育てにならないよう、児童虐待防止の観点からも子育て世代が集まる子育て支援センターの存在は必須。利用時の様子から各々の子育て状況や子どもの発達状況も把握することができ、スムーズな保育所入所や他の専門機関への連携などができる。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	八頭町には現在公立保育所のみであり、保育入所前に利用する子育て支援センターは町直営であることが望ましい。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無いか)	7	20	①効率的である	平成26年度までは3か所で実施しており、効率的な運営とは言えなかったが、27年度は拠点化するように計画しており、今後は人的・財政面でも効率的な運営が見込まれる。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	他に同等の利用場所がなく、また、「子育てしやすい町」をめざし子育て支援事業計画や総合計画など他の事業計画にも掲げる本事業は必須。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	出生児童数の減少や保育所入所率の高いことなどもあり、利用者数の大幅な増は難しいが、育児相談やコミュニケーションの場の提供など孤立化した育児を解消するという点においては成果はあると判断している。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
<b>2</b>	1、拡充する	80点以上	<b>66</b>	孤立化した子育てにならないよう、子育て世代が集いコミュニケーションをとったり、情報交換ができる場所を提供することができる子育て支援センターは、利用者にとっても大切な場所である。 また、支援の必要な家庭やリスクの多い家庭の早期把握と、それを支える各専門機関等との連携体制の確保など、児童虐待防止と虐待予防の観点においても、子育て支援センターの果たす役割は重要である。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	<b>2</b>	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
<b>2</b>	1、拡充する	孤立した子育てによる、児童相談や児童虐待防止の観点から、情報交換やコミュニケーションの場が重要な役割を果たしている。そのためにも子育て支援センターでの教室や講座を開催や、1歳児検診での啓発も行われている。 未満児の保育所入所で登録率や利用者が減ってきてはいるものの、相談件数が増加していること、核家族化により育児不安の軽減や解消を図って行く必要がある。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

<b>課題</b>	<p>事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズに沿った事業内容(子育て講座など)の展開と、各家庭における親育ち力・子育て力のアップ。</li> <li>・子育て支援センターを利用しない親子の利用促進。(就学前までは、保育所か子育て支援センターのどちらかで繋がりが持てるようにしたい。)</li> </ul>
<b>今後の方向性</b>	<p>上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から拠点化(1箇所)することによる、船岡・八東地域への出張子育て支援センターの実施。</li> <li>・利用者ニーズの把握と事業内容の検討。</li> </ul>